

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・観光入込客数 ・障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	文化政策課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	新潟市美術展などの公募事業の応募者数			新潟市美術展開催事業 にいがた市民文学発刊事業	美術を愛好する市民の創作作品を発表する場として「新潟市美術展」を開催します。また、文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集・審査し、「にいがた市民文学」を発刊します。さらに、創作活動のきっかけとなるよう、市民向け美術講座や市民文学創作教室を実施します。	△	○応募者数は目標に届きませんでしたが、近年減少傾向にある中で、にいがた市民文学、新潟市美術展ともに、前年度実績を上回りました。 ・にいがた市民文学423人(前年度比較+19人) 一般の部224人(+2人) 青春の部199人(+17人) ・新潟市美術展421人(前年度比較+34人) 一般384人(+27人) 18歳以下37人(+7人) ○講座・創作教室受講者のうち応募したいと思った人の割合 ・市民文学創作教室 79% ・市民向け美術講座 45%	・にいがた市民文学 来年度の「にいがたマンガ大賞」とのコラボレーション(今年度創設した「にいがたライトノベル」部門の優秀作品をマンガ化する)を展開していきます。新部門を創設したことで、若い世代や新しい表現に光を当てることができたため、今後も書き手の裾野の拡大に取り組みます。 ・新潟市美術展 作品規定の見直しや、高校生の出品を増やすために会期を9月に前倒しするなど、出品者数の増加に向けて取り組みます。 また、創作意欲が高まり、応募者数の増加に繋がるよう、引き続き市民向け美術講座を実施します。
2	次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	オーケストラはキミのともだち			子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会の少ない子どもたちに鑑賞・体験機会を提供するため、プロオーケストラによる演奏会を開催するほか、小学校などへのアウトリーチを実施します。	△	○「オーケストラはキミのともだち」コンサートの参加者数は、目標に届きませんでしたが、昨年度に次ぐ(これまでで2番目に多い)参加者数でした。 ・2回公演合計で3,051人(お仕事体験とバックステージツアーの参加者18人を含む) ○東京交響楽団による学校訪問(音楽アウトリーチ)を、43校45回(2校4回含む)実施しました。 R7.6.16～6.19 参加児童数:2,834人	引き続き、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育み、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。また、東京交響楽団によるアウトリーチを実施し、質の高い演奏を間近で体験してもらうことで、クラシック音楽への興味関心を高め、コンサートへの参加を促進します。

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
			参加者の文化・歴史関連の活動回数が増加した人数の割合	65% (令和6年度63%)	63%	子ども向け文化プログラム体験事業	本市の文化や歴史などへの子どもたちの興味・関心を醸成するため、小学5年生～6年生を対象に、まちなかの文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施します。		「文化・歴史について調べた」「イベント・公演に参加した」等の回答が一定数確認されており、一定の成果が認められるものの、「特に行動に変化はなかった」とする回答も一定数存在しており、参加後の継続的な行動変容の促進に課題が	関連イベントや施設情報を提示するなど、次の行動を促す導線の明確化や、振り返りの機会の充実により、興味を具体的な行動へ結びつける支援などを実施することで、行動変容の割合の向上を目指します。
3	みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化などの人を引きつける特色のある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくり分野などの振興に役立てます。	政策2-4-①	マンガ・アニメを活かしたまちづくり 「マンガ・アニメの会」における意見の実現数 「ガタマニア」の年間更新回数	1件 24回	1件 40回	マンガ・アニメのまちづくり推進事業	令和6年度に立ち上げた官民連携のプラットフォーム「マンガ・アニメの会」において、マンガ・アニメの活用に向けた意見交換やアイデアの実現を図ります。 また、同年度にリニューアルしたホームページ「ガタマニア」において、マンガ・アニメの多分野活用の事例やイベント・講座の開催情報などマンガ・アニメに関する取組を発信します。	○	・マンガ・アニメの会での意見交換により提案された酒蔵に関するキャラクター制作を実現することができました。 ・マンガ・アニメの多分野活用事例やイベント開催に関する情報収集を行い、ホームページでの情報発信を行いました。	・マンガ・アニメの会での意見交換を継続していくとともに、市だけが事業をするのではなく、企業同士の取組についても調整を続けていきます。 ・イベントや講座開催に関する情報のほか、多分野活用の事例紹介を充実させていきます。
4	国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化芸術特性を幅広く活用していきます。	政策2-4-②	文化芸術による共生社会推進事業への障がい者施設等の参加件数	61件 (令和6年度61件)	92件	文化芸術による共生社会推進事業	障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援などを通じて、障がいのある人となない人との相互理解を深める環境づくりに取り組みます。	○	○表現活動調査84件 (前年度比較+27件) ○交流支援8件 (前年度比較+4件)	表現活動調査等を継続するとともに、福祉施設間の情報交換や交流の機会を創出し、障がいのある方の表現活動を支える環境の充実を図ります。
5	全ての職員が心身ともに健康に働くことができるよう、時間外勤務時間数の縮減に努めます。	行財1-4-②	月45時間を超える時間外勤務をした職員数	0人 (令和6年度3人)	0人	時間外勤務の縮減	時間外勤務の上限目標を設定し、職員の健康管理を徹底します。	○	定時退庁推進日における定時退庁の呼びかけや、時間外勤務実施状況を共有することにより、月45時間を超える職員はいません。	担当業務により繁忙期が異なることから、課全体で協力・応援体制をとりながら、業務量の平準化を図り、時間外勤務の縮減を図ります。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	新潟市美術館			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	展覧会やイベントの充実などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	政策2-1-①	入館者数(人)	30,000	34,105	展覧会開催事業	企画展及びコレクション展を開催するとともに、関連する各種講座等を開催します。(令和7年8月29日まで大規模改修工事に伴う全館休館あり。)	○	入館者数では、「ほぼせんてんてん」、「はじめましての西洋絵画展」「路傍小芸術展」の開催を通して、目標の入館者数を達成しました。 アンケートについては、期間を通して目標を達成しました。	展覧会や関連する講座等の充実を図り、来館者を増やすとともに、来館者の満足度向上を目指します。
2	学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-①	学校連携事業や教育普及事業等の実施回数(回)	20	28	教育普及事業	アートリップや子どもスタンプカードを実施します。また、美術講座、ワークショップ等を開催します。(令和7年8月29日まで大規模改修工事に伴う全館休館あり。)	○	アートリップをはじめ、美術講座、ワークショップ等を開催し、目標を達成しました。	学校連携事業や教育普及事業等を実施し、美術に触れる機会の充実や市民に親しまれる美術館づくりを進めます。
3	職員等に職場研修を行うとともに、館外研修に職員等を積極的に派遣し、資質向上を図ります。	行財1-4-①	研修受講者数(延人数)	90	108	美術館管理運営事業 調査研究事業	文化庁等の学芸に関する専門的な研修に派遣するとともに、庁内の財務、文書管理等の研修に参加します。	○	学芸業務に関する専門研修の他、財務等に関する研修を受講し、目標を達成しました。	職員の能力・資質向上を図るため、積極的に研修参加を行っていきます。

組織目標管理シート

年度		令和7年度		(参考) 関連する総合計画に おける政策指標		文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合		作成日 R7.4.1		
組織名(部)		文化スポーツ部		組織名 (準部・課・機関名)		新津美術館		評価日 R8.3.31		
									○:達成 △:一部未達成 ×:未達成	
No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	政策2-1-①	美術館入館者数(人)	17,000	16,466	企画展の開催	荒井良二展とその関連イベントを開催(令和7年6月9日から令和8年3月31日まで改修工事に伴い休館)	×	企画展の開催により、目標をほぼ達成し、市民の美術に触れる機会の創出に寄与しました。	今後も企画展を通じて市民に親しまれる美術館を目指します。
2	学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	政策2-2-① 行財3-2-②	普及事業の実施回数(回数)	15	23	教育普及事業の実施	美術講座、出前美術館を実施(令和7年6月9日から令和8年3月31日まで改修工事に伴い休館)	○	公民館や学校等へのアウトリーチ活動を通じて、普及に努めました。併せて、休館中の調査研究結果をまとめた「美術館ノート」を発行し、広く知識の普及を図りました。	今後も教育普及活動に取り組み、市民に親しまれる美術館を目指します。
3	職員が、各種の研修に積極的に参加し専門性を高めるとともに、市職員としての資質向上に努めます。	行財1-4-①	研修受講者数(延べ人数)	70	94	研修への参加	文化庁等の専門的な研修や職場研修等への参加	○	一般研修・専門研修を通じて、職員の資質向上に努めました。	引き続き、研修に参加し、職員としての資質向上を図ります。

組織目標管理シート

年度	令和7年度					(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・観光入込客数 ・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.1	
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課						評価日	R8.3.31
								○:達成 △:一部未達成 ×:未達成		
No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)				概要
1	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財を着実に次代へ継承できるよう、関係者と連携・協議しながら計画的に保存に向けた整備や調査を行います。	政策2-3-①	・文化財保護調査件数	60件	68件	・旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業 ・旧笹川家住宅保存整備事業 ・文化財保護調査事業	・文化財の調査等	○	旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業を委員の意見や国県の指導を受けながら滞りなく進めました。 また、文化財所有者の相談に対し、関係団体と連携して保護調査を行いました。	引き続き、関係課や関係事業者等と調整し、保存整備事業を進めるとともに、協力団体と連携し、文化財調査を進めます。
2	国民共有の財産である埋蔵文化財が適切に保護されるよう、各種開発事業に即した保護協議を行います。	政策2-3-①	・県営ほ場整備に伴う試掘・確認調査	県から要望の出ている県営ほ場整備予定地区のうち、4地区以上、または計200ha以上。うち2地区の取扱い完了。	5地区 225.6ha	・試掘・確認調査(開発事業) ・試掘・確認調査(ほ場整備事業)	県他関係団体と調整し、県営ほ場整備事業予定地区を対象とした試掘確認調査を実施 国庫補助の範囲内で最大限要望に応えます。	○	県から要望に合わせ阿賀満・小杉・三方・焼山・西幹線第一の5地区を対象に、国庫補助額の範囲内で最大限の対象面積225.6haの試掘調査を実施しました。 地区数、実施対象面積とも目標を上回りました。西幹線第一以外の4地区は試掘調査を完了しました。	引き続き県他関係団体と調整し、試掘・確認調査を進めます。
3	各施設における様々な展示等を通じて、本市の歴史や特色を広く発信し、交流人口の拡大を図ります。	政策2-4-①	・歴史博物館の入館者数(人)	90,000	91,411	・博物館管理運営事業 ・川湊や潟の歴史・文化の発信事業 ・旧小澤家住宅管理運営事業 ・新津鉄道資料館管理運営事業	・歴史博物館 「にいがた てしごとものづくり」、「新潟市と戊辰戦争」展、むかしのくらし展、各種講座等、川湊や潟をテーマにしたまちあるきツアー ・旧小澤家住宅「新潟歴史玉手箱」展、「簡描」展、「桜井進一氏写真展」、「池田孤邨」展、各種講座等 ・新津鉄道資料館「くらしと鉄道-新潟都市圏の交通しと鉄道」展等	△	歴史博物館では、落雷により9-10月の約1か月間、臨時休館となりましたが、夏の企画展が好評だったことなどにより、目標値を達成しました。	歴史博物館では今後も地域の歴史を題材とした体験型の企画を実施するほか、展示や講座等多角的な手法で本市の魅力を引き続き発信し、交流人口の拡大を図ります。
			・旧小澤家住宅の入館者数(人)	15,000	15,154					
			・新津鉄道資料館の入館者数(人)	55,000	45,107					
4	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制運用上の不備報告件数(件)	0	3	公平・公正な入札事務等の実施	内部統制制度におけるリスク管理を基に、日々の会計処理においてダブルチェックの徹底等により、内部統制運用上の不備発生を防止します。	×	(新津鉄道資料館) 市有財産賃貸借契約における最低賃付料月額額の算定を誤って徴収していました。 (埋蔵文化財担当) 埋蔵文化財包蔵地照会回答の誤送信が発生しました。 (企画・文化財担当) (企画・文化財担当) 歴史博物館において指定管理者が使用料の料金区	(新津鉄道資料館) 次回契約更新からは財産管理事務マニュアルの確認を徹底(引継ぎ)します。 (埋蔵文化財担当) スタッフ間で適宜留意し合うことで統制意識を高め、再発を防止します。 (企画・文化財担当) マニュアルを再確認し、料金区分が合致していることを複数人で確認し徴収することを

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域の文化的な環境への満足度 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課 文化財センター			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に出向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	政策2-3-①	・文化財センター入館者数(人)	8,000	6,202	・企画展(年2回)及び関連講演会の開催 ・各種講座の実施	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。 ・民俗講座などの各種講座等を実施します。	△	入館者数は目標値に達しなかったものの、前年度より約2.5%の増加となりました。 現地説明会は1遺跡でしたが目標を上回る参加者があり、地域住民など多くの方から遺跡に対する関心を持っていただきました。 速報会の参加者は、目標に届かなかったものの昨年度を上回り、アンケート結果では、回答者の8割以上の方から満足との評価をいただきました。 出前講座は、昨年度を上回る参加者があったほか、講座実施後に来館する方もいるなど、入館者増にもつながりました。	引き続き、市内における貴重な遺跡の発掘調査・研究を確実に行うとともに、その成果を活用することで、市民の皆様が本市の文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるよう、分かりやすくて親しみやすい情報発信(企画展や各種講座等の開催など)に努めていきます。 また、将来を担うこどもたちが地域の文化財に対して誇りと愛着が持てるよう、引き続き、学校等への各種出前講座の実施に取り組んでいきます。
2	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	政策2-3-①	・史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者数(人)	30,000	13,416	・企画展(年2回)及び関連講演会の開催	・企画展及びそれに関連する講演会を開催します。	×	隣接する新津美術館の長期休館により、美術館からの人流が取り込めず、入館者数は前年度よりも減少して、目標の約45%に留まりました。 各種イベント等参加者についても、目標値の約83%に留まり、目標達成には至りませんでした。	令和8年度は新津美術館も再開されることから、美術館をはじめとした近隣施設との連携強化を図りながら史跡の認知度向上と入館者の増加に努めます。 また、昨年7月の火災により焼失した復元竪穴住居の修復や、史跡の魅力度向上につながる史跡指定地外の追加指定に向けた取り組みを進めます。
3	本市の貴重な文化資産である史跡や遺跡を適切に保存・活用するため、発掘調査における正確な設計と公平・公正な入札を実施し、市民に信頼される市政の推進に努めます。	行財1-1-①	・内部統制運用上の不備報告件数(件)	0	0	・埋蔵文化財等本格発掘調査事業	・確認調査及び発掘調査において正確な設計と公平・公正な入札を実施します。	○	チェックリストの確認やダブルチェックの実施等により、内部統制運用上の不備報告は0件でした。	今後も適正な事務の執行に努めることで、市民から信頼される市政運営の推進に努めます。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域の文化的な環境への満足度	作成日	R7.4.1
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	歴史文化課・文書館			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要		
1	文書館で保存する歴史公文書等を市民共有の知的資源として、適切に保存・利用提供します。	政策2-3-①	利用提供数(件)	250	237	適切な資料提供の実施	文書館の事業内容を周知し、特定歴史公文書を適切に市民の利用に供します。	△	引き続き、利用者に対し丁寧なレファレンスと資料提供に取り組みます。 今後も個人宅への調査を継続するとともに、地域の歴史関連団体と連携した古文書調査へも積極的に参加していきます。
			個人宅等への資料調査の件数(件)	5	11	計画的な資料調査の実施	年度当初に、文書群台帳などから訪問先を選定し、計画的・主体的に資料調査を実施していきます。		
			特定歴史公文書の事前審査を行った回数(回)	15	26	講座・企画展・資料調査等と関連させた事前審査の実施	簡易閲覧(審査不要)の資料を増やすため、機会を捉えて、特定歴史公文書の事前審査を行います。		
2	本市の歴史や歴史に関する資料等に興味をもってもらえるよう、歴史講座の開催や文書館が所蔵する資料展示などにより情報を発信します。	政策5-2-②	講座の開催回数(回)	10	25	参加者にとって分かりやすく参加しやすい講座の計画・実施	昨年度のアンケートを講座実施計画に活かし、より参加しやすい講座にします。内容については、各担当が学芸的職員と連携し、内容の充実(プレゼン・配付資料)を図っていきます。	○	さわやかトークの依頼が倍増し、文書館の認知度と役割が広く知られてきているものと考えます。 「戦場としての新潟」のWeb公開では、電子書籍のほかHTML版の同時公開など、障がいのある方々への対応にも取り組み大きな成果をあげました。
			刊行物のデジタルデータ化(冊)	1	1	刊行物のデジタルデータ化によるWeb公開	「戦場としての新潟」(平成10年発行)をデジタルデータ化してWeb公開するとともに、戦争関連の多様な学びやニーズに対応した支援を行います。		
3	教職員や児童生徒に、文書館を(施設として、職員を、所蔵資料を)活用してもらえるよう、学校との連携を強化します。	行財3-2-③	学校の授業・校外学習等で文書館を利用する学校数(校) ※職員の派遣も含む	5	9	学校向けの文書館広報の発行 及び 関係者の研修への協力	引き続き学校向けの広報紙を発行します。また、文書館を活用した研修などが今後も継続して行われるよう、市小研社会部や北区教育支援センター、各学校との連携を大切にしていきます。	○	文書館の認知度が高まったことで、学校からの研修や出前授業の依頼が少しずつ増えました。 年度始めに、学校向けの広報紙を発行し、文書館の活用例を教職員に周知します。また、学校現場とつながる機会を捉え、研修・出前授業・資料活用などの情報を発信します。

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・スポーツ環境への満足度	作成日	R7.5.9
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	スポーツ振興課			評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	市内のスポーツ施設利用者数(人)	3,030,000人	3,364,855人	スポーツ施設管理運営委託費	指定管理者制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携しながらスポーツ施設の利用促進を図ります。	○	指定管理者や関係機関と連携しながら、魅力的な施設運営を図り、利用者増となり目標を達成することができました。	引き続き指定管理者などと連携しながら、魅力的な施設運営を図ります。
2	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	鳥屋野運動公園野球場供用開始	基本計画策定	策定中(未公表)	鳥屋野運動公園野球場再整備事業	関係者や地域と意見交換を行い、施設のコンセプトや規模、機能、配置などの再整備の基本計画を策定する。	×	関係者や地域と意見交換を行い、野球場のコンセプト固めを行い基本計画の策定を進めたが公表には至らず、目標を一部達成することができませんでした。	引き続き供用開始に向けて必要な工程を着実に進めていきます。
3	新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。	政策3-3-①	主要スポーツイベント参加者数(エントリー数)	① 12,400人 ② うち海外120人	①13,016人 ②うち海外240人	新潟シティマラソンの開催	フルマラソン、ファンラン、ユニバーサルランの3種目を実施し市民の健康保持・増進を図ります。昨年度に引き続き、佐渡トキマラソンとの連携を通じ、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。	○	県外、海外からの参加者は過去最高となるなど、定員を超える申込状況であり、目標を達成することができました。	安全な大会開催に向け、事前対策を徹底するなど、関係団体と連携し、参加者満足度の高い大会になるよう努めます。また、大会終了後に初めて実施したランナーアンケートの調査結果を分析し、次年度大会への改善等を図ります。
4	将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・資質向上、障がい者の競技スポーツの普及促進を図ります。	政策3-2-①	①障がい者スポーツ全国大会等参加 ②障がい者スポーツ用具貸出件数	①7件 ②前年度以上	①27件 ②前年度以上	障がい者スポーツ全国大会等参加 障がい者スポーツ推進事業	障がい者の競技スポーツへの志向意欲を高めるとともに、積極的な社会参加を促進するため、障がい者スポーツの全国大会等に出場する選手に激励金を支給します。また、用具貸出事業を実施し、普及促進と競技人口の拡大などを図ります。	○	激励金支給件数及び障害者スポーツ用具の貸出件数について、ともに目標を達成することができました。	激励金の支給を継続するとともに、用具の貸出事業や障がい者スポーツのイベントの実施等により、障がい者スポーツの普及促進を図ります。
5	本市が開催するスポーツイベントにふるさと納税を導入し、参加者数を確保するとともに市の財政基盤の強化に繋がります。	行財2-1-①	ふるさと納税による新潟シティマラソン(フルマラソン)エントリー数	100人	99人	ふるさと納税による新潟シティマラソン(フルマラソン)エントリー数	本市が開催する新潟シティマラソンにふるさと納税枠を新設して、返礼品として「フルマラソンの出走権」を進呈することで、新潟シティマラソンのエントリー数を確保するとともに市の財政基盤の強化に繋がります。	○	ふるさと納税枠100人の定員に達した後に1名キャンセルが出ましたが、当初の目標は達成することができました。	今後の申込状況を踏まえ、募集枠の拡充を図るなど、財政基盤のさらなる強化に繋がります。